広報おかや
No.1178
2002
11/15

主な内容

諏訪湖ハイツ基本設計
任意合併協議会設立総会
スポーツタウン

サギノー・チップワ・インディアン・トライブの日の出の儀式

姉妹都市のマウント・プレザント市に自治区がある米国先住民「サギノー・チップワ」部族の代表者2名が市民と文化交流を図るため来岡しました。11月2日早朝、湖畔公園で部族の伝統的な「日の出の儀式」を行いました。市内外から集まった大勢の方が初めて見る儀式に見入っていました。

諏訪湖ハイツ整備の基本設計がまとまりました

市では諏訪湖ハイツの利用について、先の岡谷市生涯学習・福祉等施設懇話会からのご提言や、市民のみなさんからのご意見を基に「施設利用の基本構想」をまとめました。

その後、各区での市政懇談会や各種団体への説明会等を実施し、さらに市民のみなさんのご意見をお聞きするとともに、施設の現況や構造を細部にわたり調査しながら基本設計に取り組んできました。

ここで「諏訪湖ハイツ施設整備基本設計書」がまとまりましたので、内容を報告します。

うるおいとやすらぎを求めて人が集う施設

子どもから高齢者まで様々な世代、性別を問わず、市民が誰でも集い、交流し、利用することができる、市民福祉の拠点および生涯学習施設として諏訪湖ハイツを活用していくことを基本とします。

また、諏訪湖に面し、八ヶ岳を望む豊かな自然に囲まれた風光明媚（ふうこうめいび）な場所にあり、岡谷温泉を利用した施設であることから、「うるおいとやすらぎを求めて、人が集う施設とする」ことを設計の考え方とします。

隣接する他施設との連携

隣接地には岡谷市民総合体育館、岡谷市健康福祉施設ロマネット、長野県男女共同参画センターおよびヘルシーパル岡谷があることから、これらの施設と連携した福祉、生涯学習の場として展開を図る施設とします。また、水と緑のシンボルゾーンとして整備を進めている岡谷湖畔公園と整合した施設とします。

建物の状態と活用

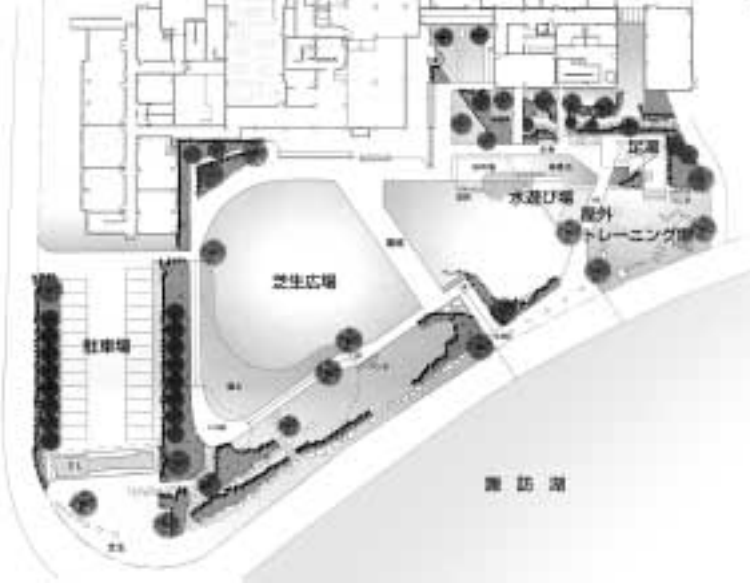
諏訪湖ハイツは数回にわたり改修が行われ、また維持管理も十分に行われており、全体的に良好な状態であるため、できるだけ現状の施設のまま利用することとします。

しかし、諏訪湖ハイツの機能の中で大きな魅力となっている温泉浴室部分は、傷みが激しく、構造的にも段差があるため、全面的な改築が必要となります。

改修工事予定

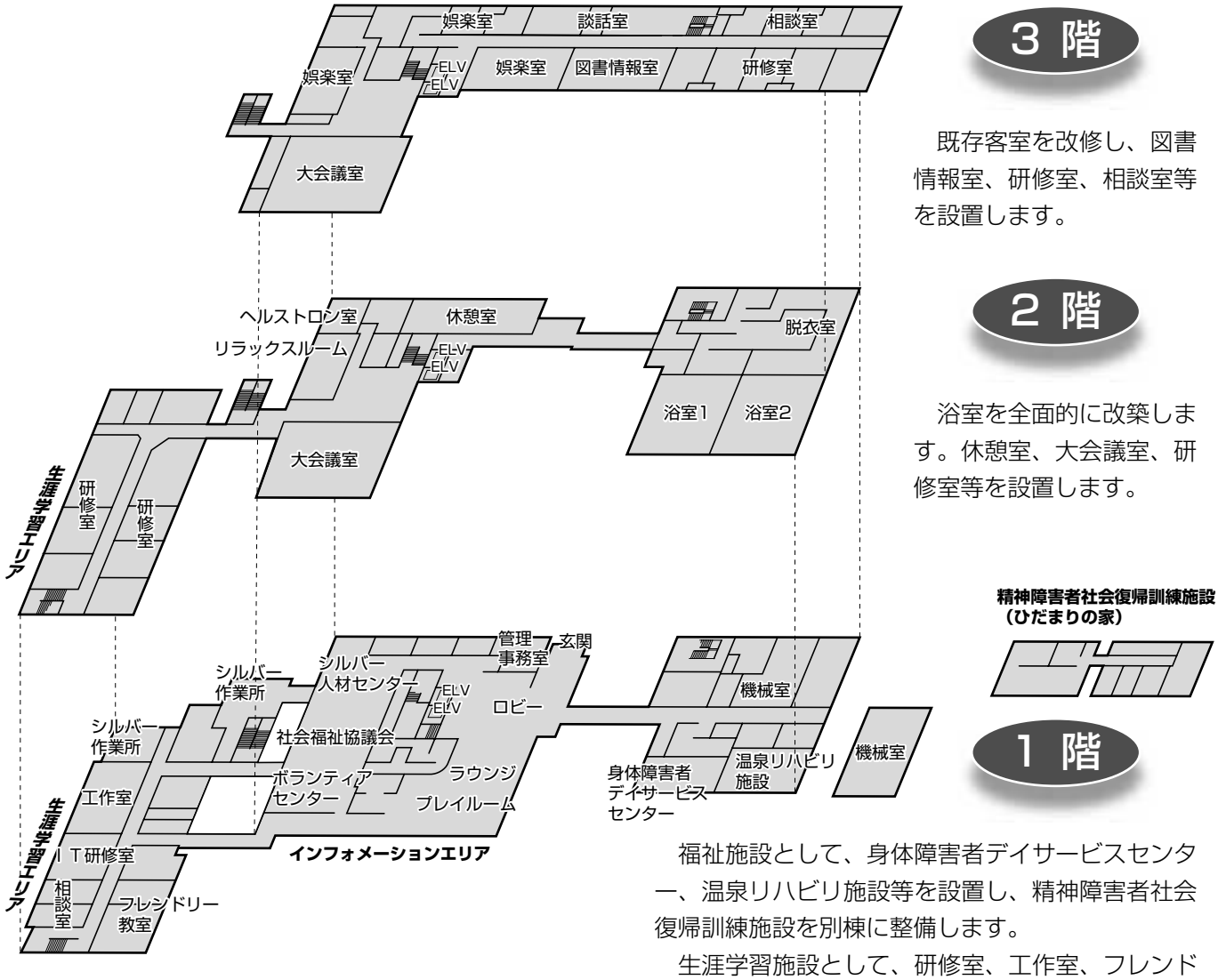
市では、今後基本設計を基に実施設計に取り組み、その後改修工事を平成15年4月～8月末まで行い、9月にオープンを予定しています。

2階浴室完成イメージ図



◀前庭完成イメージ図

前庭は、諏訪湖ハイツ利用者と湖畔に訪れた人の両方が利用できる庭として、芝生広場等を整備します。



◀１階ラウンジ廻りイメージ図